

校長室だより

第6号

平成29年6月9日

MOTTAINAI (もったいない)



先週の水曜日、チベット出身の歌手バイマー・ヤンジンさんをお招きし、5年生・6年生で聞き取りをしました。5年生は、国際理解教育、6年生は自分史（生き方学習）の出発としての聞き取りでした。

気さくな「大阪のおばちゃん」を醸し出しながら、どんどん子どもの気持ちをつかんでいかれました。お話しの中で、チベットの父母・家族、子どもたちへの熱い思いを聞かせていただくと共に、日本の素晴らしさについても、再認識させていただきました。同時に、自分たちの日々の当たり前の生活が、父母を始め、様々な人のおかげで成り立っており、感謝して生きていく大切さも気づかせていただいた。最後に、ご自身の大学時代の厳しい状況を、父母や家族への感謝の思いで、乗り越えられたということ、涙ながらに聞かせていただいた。子どもたちも、ヤンジンさんの話に深く感動し、心の残ったこと、伝えたいことを、感想文にまとめました。

先日、子どもたちの感想文を、ヤンジンさんにお渡しした。その折に、現在、6年生のお子さんがおられる、ヤンジンさん自身の子育てについて伺うことができました。

ヤンジンさんは、コンサートや講演会で全国を飛び回っておられます。しかし、どんなに遠方であっても、遅くなっても、帰りの交通手段があれば、日帰りで帰っておられます。また、お子さんが宿題をしている間、テレビのチャンネルをつけない、かかってきた電話以外、携帯を触らないということ、自分を科しているそうです。

「親の背中を見て育つ」とよく言いますが、そんな親自身、大人自身の厳しさや姿勢が、子どもに一番伝わるのかなと思いました。

一生懸命が、人を感動させる



職員室に、6年生の合奏の心地よい音色が聞こえてきた。音楽室に聴きに入った。

ちょうど、先生が子どもたちに、合奏する心構え・魂を込めていた。こんな話だった。「良い演奏も大事だけど、何が一番大切か、それは合奏する全員が一生懸命すること。そこに人は一番感動する…」そんな話だった。そこから、気合いの入った練習が再開した。心に響く音色も、いっそう豊かに感じた。

保護者の皆様、日曜参観での授業や演奏、子どもたちの一生懸命さを見て、感じてあげてください。

“サイレント (silent) 授業参観”のご案内



明後日、日曜日は日曜参観です。子どもたちも教職員も、日曜参観の授業や交流会に向けて、一生懸命準備しています。

参観中は、携帯・スマホの電源をマナーモードかオフにしていただき、是非、教室に入って、子どもたちの学習の様子を見てあげてください。

教室内の児童の横の位置は、先生の発問や説明による、子どもの表情の変化もよくわかる授業参観の“S席”です。

そして、保護者のおしゃべりが聞こえない“サイレント (silent) 授業参観”をお願いします。

“見て！見て！の法則”？！



先日のこと、2年生が、生活科で育てたミニトマトを一生懸命スケッチしていた。通りがかった私に、子どもたちが「先生、見て！見て！」と声が上がった。

その日の別の時間、1年生は、粘土工作で一人ひとりが思い思いの作品をつくっていた。その教室でも、「先生、見て！見て！」と声が続いた。

子どもって、トマトが実って嬉しいこと、一生懸命つくったものができた達成感、そして、そこに感動している自分自身の思いを共有して欲しいんだな。そんな時、「見て！見て！」の言葉と思いが出るんだなと思った。高学年からは、照れくささからか、あまり聞かない。

今朝、6年生が、「今日の合奏聴きに来るの？」と聞いてくれた。「あっ、6年生も合奏の出来具合が“見て！見て！（＝聴いて！聴いて！）の法則”まで高まってきたんだな」と、思わず嬉しくなった。(’-’*)